

「交通インフラ業界の真のサステナビリティとは」

日時：10月11日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階SMBホール
(対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、(株)みちのりホールディングス代表取締役グループCEO 松本順氏からお話を伺います。

交通インフラ業界にとっての最大の課題はコロナ禍による需要減少ではなく、供給側のリソース不足であります。その改善のためには地域に混在する多様な移動方式の混乗や各種サービスのデジタル化などが求められます。更には民営化、モード転換、乗合・貸切・乗用という制度区分の見直し、そして生産性の高い事業者への集約・統合が望まれます。

本講では、みちのりグループにおけるMaaSの構築やリクエスト型最適経路バスといった施策を解説することで、生産性の向上について考察します。また、GX(グリーン・トランスフォーメーション)の一手法として、バス運行とエネルギーの管理を一体的に行う「バスEMS(電気バス向けエネルギーマネジメントシステム)」についても紹介します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします(使用言語: 日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)

※資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手して下さい。
授業開始の1時間前までを目途に掲示します。



(株)みちのり
ホールディングス
代表取締役グループCEO
松本 順氏